

# 「2009年改訂版 既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針講習会」のご案内

財団法人 日本建築防災協会

## ■2009年改訂版をテキストに講習会開催

本会では、1983年に「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」を発行し、1997年に「改訂版 既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」を発行していましたが、改訂委員会（委員長：南 宏一 福山大学教授）において検討が進められ、このたび「2009年改訂版 既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」として発行することとなりました。

今回の改訂では、耐震診断基準については「2001年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」との整合性を図ることを主目的とし、合わせて1997年以降に得られた新しい知見を取り入れ、柱脚部先行破壊等のSRC造建築物の耐震診断における特徴的な事項について重点的に解説しています。

また、耐震改修設計指針については、実績のある工法を取り入れています。

本書をテキストに下記により講習会を開催します。

## ■耐震診断・耐震改修のニーズの増大

平成7年の阪神・淡路大震災後も平成16年の新潟県中越地震をはじめ多くの被害地震が発生し、多数の建築物が被害を受けています。また、近年は宮城県沖・東海・東南海・南海地震等大地震発生への逼迫性が指摘されるとともに、首都圏など何時何処で起こるか分からない直下型地震の発生も危惧されています。このような状況の中で、建築物の耐震診断・耐震改修の実施は喫緊の課題となりニーズは増大しています。

## ■建築技術者、営繕・施設担当者、建築行政担当者の皆様には是非受講して下さい。

建築技術者、営繕・施設担当者、建築行政担当者をはじめ建築物の設計・施工・工事監理・維持保全業務に携わる皆様には、是非この機会に受講され、耐震診断並びに耐震改修に係る最新の技術を習得され、今後の業務にご活用されますようご案内いたします。

## ■本講習は、建築士会継続能力開発（CPD）制度認定講座10単位（予定）です。

■本講習は(社)日本建築構造技術者協会のJSCA建築構造士登録更新のための評価点対象講習会(申請中)です。

■受講修了証の交付 本講習2日間受講者には、講習を受講したことを証する受講修了証を交付します。

## 記

### 1. 開催地・期日・会場・定員

開催地	期 日	会 場	定 員
仙 台	2010年2月8日（月） ～2月9日（火）	ハーネル仙台 2階松島の間 仙台市青葉区本町2-12-7	120人

（本講習会は、東京（終了）、大阪（終了）、福岡（1/25～26日）でも開催しています。）

### 2. 受講料 35,000円（消費税込み・テキスト代含む。）

主 催 (財)日本建築防災協会  
 後 援 国土交通省、宮城県、(社)宮城県建築士事務所協会、(社)宮城県建築士会、(財)宮城県建築住宅センター、  
 (社)日本建築士事務所協会連合会、(社)日本建築士会連合会、日本建築行政会議、  
 (社)日本建築構造技術者協会、(社)建築業協会、(社)建築研究振興協会  
 既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会、建築物防災推進協議会

### 3. テキスト

「2009年改訂版 既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」  
((財)日本建築防災協会発行、国土交通省住宅局建築指導課監修、2009年12月発行予定)  
講習会受講者特価14,000円(消費税含む。)(定価16,000円)

### 4. 講習内容及び講師(予定)

(講師は、テキスト作成委員等。都合により一部変更となる場合があります。)

#### ＜第1日目＞

- (1) 開会挨拶(10:00~10:15) 開催地建築行政担当課長等
- (2) 耐震診断・耐震改修の歩み(10:15~10:30)
- (3) 耐震診断基準・耐震改修設計指針の考え方と要点(10:30~12:00)
- (4) 耐震診断基準の解説(13:00~16:00)

#### ＜第2日目＞

- (5) 耐震改修設計指針の解説(10:00~12:00)
- (6) 例題演習(13:00~16:00)
- (7) 受講修了証交付(16:00~16:20)

講師予定(改訂委員会の下記の委員が各会場分担により担当します。順不同、敬称略)

村上 雅也	千葉大学名誉教授	南 宏一	福山大学教授
西田 哲也	秋田県立大学教授	堺 純一	福岡大学教授
倉本 洋	大阪大学大学院教授	楠 浩一	横浜国立大学准教授
益尾 潔	(財)日本建築総合試験所	勝俣 英雄	(株)大林組技術研究所
宮内 靖昌	(株)竹中工務店技術研究所	福元 敏之	鹿島建設(株)技術研究所
鈴木 重和	(株)大林組東京本社設計本部	田子 茂	(株)堀江建築工学研究so

### 5. 受講申し込み方法

(1) インターネットによるお申し込みと、(2) 郵送によるお申し込みがあります。インターネットによるお申し込みの場合は振り込み手数料等がかかりません。郵送によるお申し込みの場合は振り込み手数料をご負担下さい。

できるだけインターネットによるお申し込みにご協力下さいますようお願いいたします。

申し込み方法の詳細は、以下「8. 申し込み方法の詳細」に記載しております。

#### (ご注意)

- ・インターネットによるお申し込みをされた場合、「郵送によるお申し込み」記載の「銀行振込口座」へのお振込はできません。必ずインターネットによるお申し込み指定の手続きに従って受講料(テキスト代含む。)をお支払い下さい。
- ・お支払いいただいた受講料は、当方の都合により受講をお断りする場合を除いて返金いたしません。

### 6. 申込先・問合せ先

(財)日本建築防災協会 SRC講習会係(03-5512-6451)  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8F

(お願い)

- ・インターネットによるお申し込みについてのお問い合わせは以下へお願いします。  
TEL.042-628-9560(サンパートナーズ(株)講習会係)

### 7. 申込締切期日

各会場開催1週間前。(※郵送によるお申し込みの場合は必着)

ただし、締切日前でも、定員に達し次第締め切ることがありますのでお早めにお申し込み下さい。

8. 申込み方法の詳細（できるだけ（1）インターネットによるお申し込みにご協力をお願いします。）

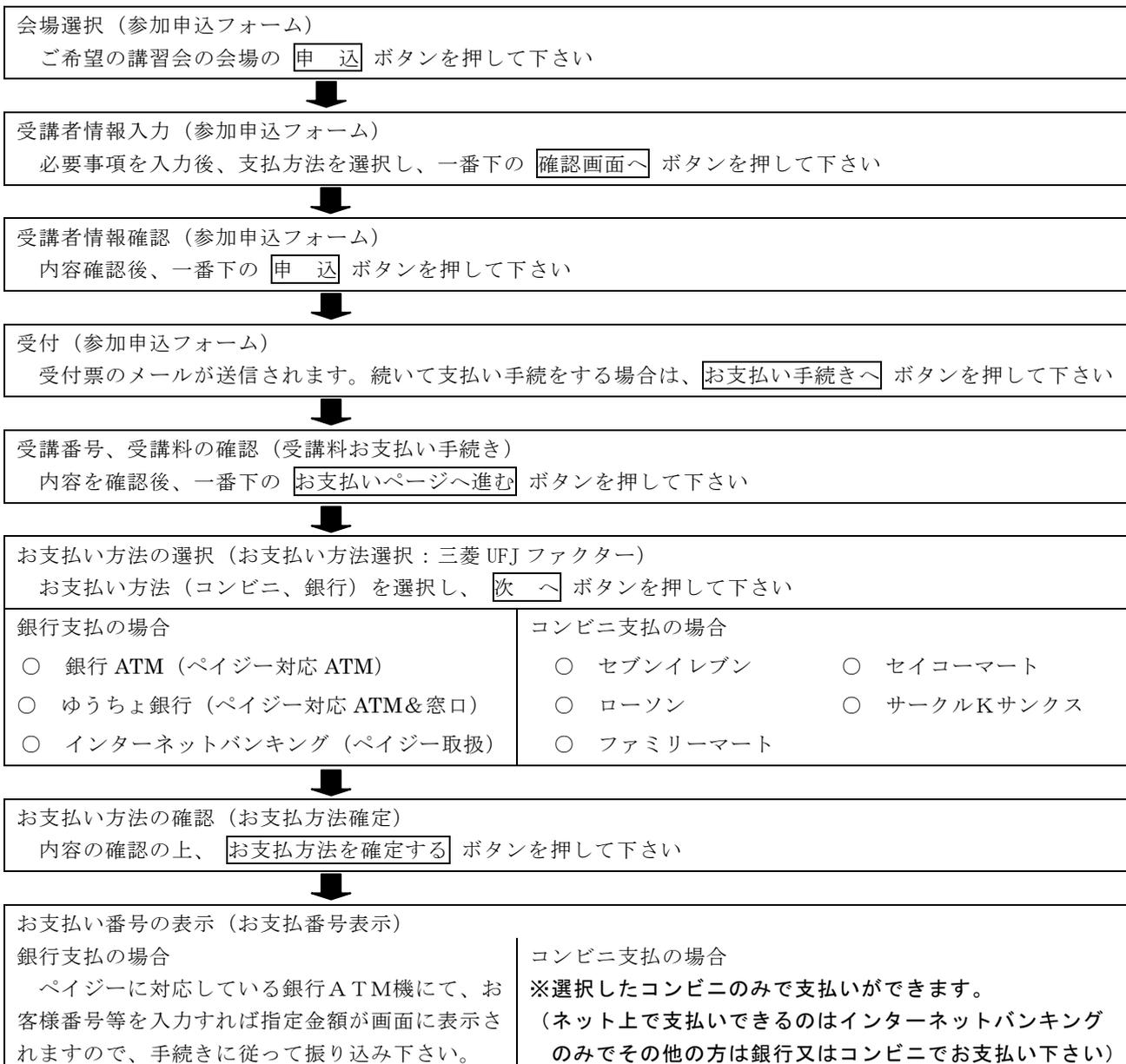
（1）インターネットによるお申し込み（振込手数料等はかかりません。）

下記へアクセスし、画面の案内に従ってお進みください。

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/index.html>

下記の支払方法のうち1つをお選びください。

- ・コンビニ支払
- ・銀行（ペイジー対応ATM）・ゆうちょ銀行（ペイジー対応ATM&窓口）
- ・インターネットバンキング



- ① お申込み後、すぐに受付票（受講票ではありません）をメールにて送信いたします。  
ご希望の支払方法をご選択いただき、手続きされた支払窓口へ行きお支払いをしてください。
- ② 入金確認後、受講票をメールにて送信いたしますので、印刷して、当日ご持参ください。

- ※1 インターネットからのお申込みの場合は、申込書のご送付は必要ありません。
- ※2 受付、支払方法のご選択をされても、受講料のお支払いが無い場合は、受講できません。
- ※3 受講申込の際に入力された個人情報と講習実施に関する必要な書類等の作成、送付及び本講習の内容に関する情報の送付に使用します。それ以外の目的には使用いたしません。

このインターネットによるお申し込みについてのお問い合わせは以下へお願いします。  
TEL. 042-628-9560（サンパートナーズ（株）講習会係）

(2) 郵送によるお申し込みの詳細(振込手数料はご負担下さい。)

以下の申込用紙(1名につき1枚。コピー可)に記入し、①事前に受講料を下記の銀行振込口座へ振込みました受領証のコピーを申込書所定の欄に貼付し、②前記6の申込先・問合せ先宛郵送してください。FAXにて、受講票及び会場案内図を送付いたします。

三菱東京UFJ銀行 虎ノ門中央支店 普通 5562631 (財)日本建築防災協会

ザイニホンケンチキョウ ヲサイヨウカイ

キリトリ

「2009年改訂版 既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針講習会」受講申込書(郵送によるお申し込み用)

※インターネットによるお申し込みの場合は、この受講申込書は必要ありません

フリガナ		希望する会場に○印を付けてください	
受講者氏名	(受講修了証作成のため、楷書でご記入下さい)	仙台会場 (2/8~2/9)	
生年月日	昭・平 年 月 日		
連絡先	自宅・勤務先	(何れかに○印を付けてください)	
住所	〒 都・道 府・県		
勤務先名			
勤務先部課名			
電話番号		FAX番号 (受講票送信のため、必ず記入してください)	

銀行の振込受領証のコピー貼付欄

(剥離しないように、しっかりと貼付してください。)

※この申込書に記載された個人情報は、講習実施に関する必要な書類等の作成、送付及び本講習の内容に関する情報の送付に使用します。それ以外の目的には使用いたしません。